

秋は夕暮れ

『枕草子』1段より 清少納言

秋はダントツで、夕暮れが私のオシ。

たとえば日が落ちた頃、
カラスが2〜3羽で
おうちに帰っていく姿とか、

実際に見ると大きい鳥なのに、
遠くの方で飛んでると
すごく小さく見えるのとか。

そーいうのが、
なんか、グツときちやうんだよね。

でも一番は、完全に日が沈んだときに
聞こえてくる風の音とか、虫の声。

そつと目を閉じて、耳をすますの。

暗闇から聴こえてくる、音。

静寂な、秋の息づかい。

これはマジで至高。

続々
重版!



「いとエモし。」

超訳 日本の美しい文学

koto

111の古典を
今どきの言葉に超訳し
今どきのイラストに載せました